

## J A庄内たがわ下期座談会 食材宅配は（株）Aコープ東北に移管

J A庄内たがわ令和2年度下期座談会が4日から9日まで、各支所で開催されました。機構改革で、企画管理部を総務部と経営企画部に再編し、生活福祉部の廃止と生活福祉事業の体制変更について説明されました。

### 生活購買は子会社へ

①食材宅配事業は4月から、成長戦略として庄内地区全域を営業区域とするため、他J Aと連携し、（株）Aコープ東北に事業移管する。

②その他生活購買品の取り扱い業務は、子会社の（株）あいとサービスに移管する。

③J A女性部の活動は、総務部総務課が担

当し、各支所にはこれまで通り生活担当者を配置する。

④介護福祉事業は、総務部介護福祉課が担当する。

一方、SDGsの理念に基づいた事業目標や計画策定の検討を打ち出し、女性総代の割合を、15%以上を目指すとしています。

### 経営コンサル導入

令和2年度に導入した全中の経営コンサルタントからは、園芸作物が少量多品目になっていることが課題と指摘されています。

信用部門の収支が厳しく、営農部門の赤字の圧縮が課題との指摘もあるとのこと。

園芸振興では、2017（平成29）年6月の総代会で打ち出した長期目標としての園芸販売高倍増の40億円は、実行可能な目標管理を行うとして、令和5年度目標を20億円（令和2年度見込み16億円）としました。

### 後継者いないが半数以上

J Aが5月に実施した組合員意向調査の結果が公表されました。

回答者の年齢で一番多いのが60〜69歳で41・2%、次いで70歳以上が24・5%で、60歳以上が全体の65・7%を占めています。

農業後継者については、いないが51・5%と半数以上です。

今後5年以内の経営規模については、現状維持が60・1%で一番多く、水稲拡大が14・2%、離農が11・8%、園芸拡大が2・9%、水稲縮小が2・9%となっています。

重点品目拡大の中で興味があるもの・作付してみたいものは、長ネギが20・7%、庄内柿14・4%、アスパラガス14・4%、枝豆14・1%となっています。

## 平形分教場 5

加藤貞雄（山王町）

### ■藤島川

分教場から北に数百メートル進むと藤島川に当たる。川幅は20〜30メートル。地図によると

この川は西川町に端を発し押切方面に流れ京田川と合流、酒田市の宮野浦で最上川と合流して日本海へと注ぐ長い川だ。

藤島川の水はいつも茶褐色に濁っていて、子どもの頃よくその濁った水の中で泳いだり遊んだりしてきた。

川向こうは八栄島集

落。川には向こう岸まで吊り橋がかけてあった。橋は3本の太い鉄線で逆三角形にできている。足元に1本、両手に1本づつをしっかりと握って慎重に伝っていく。上下、左右に大きく揺れる。ドブーンと川に落ちたこともあった。

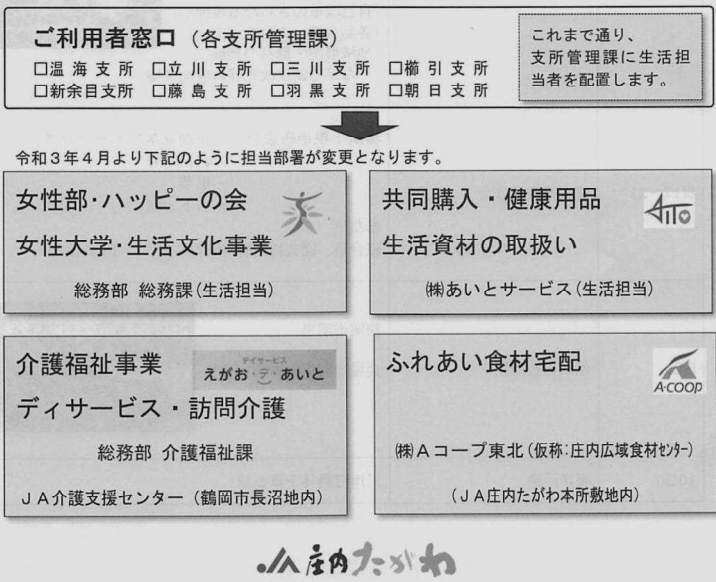
泳いでいると川縁の雑木の中にブルー色鮮やかな小鳥（カワセミ）を見かけることもあった。川の流れは意外と速く、泳いでやっと岸

へたどり着く。よその家の畑を通って、キウリなどを失敬したりして帰る。

川のやや上流には羽越線鉄道の鉄橋があり、その少し下流に揚水場がある（今も）。その辺りは広いのでよく泳いだ。流れが渦を巻いていて渦巻きから脱出するのは簡単でなかった。川から岸の土手に上がるには広い葦原の藪の中を漕いで登らなければならぬが、これも厄介であった。

鉄橋から少し上流に行くと、藤島の下町あたりに来る。藤島川を挟んで下町の子どもたちと良く口喧嘩をし、悪態のかぎりを叫んだ。鉄橋を挟んで石を投げ合ったりした。上級生たちは鉄橋の上から相手めがけて投石を繰り返し、後方支援の下級生たちは石運びを手伝った。一本の川を隔てているだけで、兩岸の子ども達は喧嘩をしてくるのだ。（つづく）

### 令和3年4月からの生活福祉事業の体制



J R羽越線の藤島川にかかる鉄橋（上平形）  
背景に月山



